



## 2024年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月12日

上場会社名 株式会社 シーズメン  
コード番号 3083 URL <https://www.csmen.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植杉 泰久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	1,501	3.0	36		39		60	
2023年2月期第1四半期	1,547	58.6	84		80		88	

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 60百万円 ( %) 2023年2月期第1四半期 88百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	20.96	
2023年2月期第1四半期	30.59	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第1四半期	2,559	876	34.3	304.20
2023年2月期	2,428	851	33.6	283.25

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 876百万円 2023年2月期 816百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期		0.00		0.00	0.00
2024年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,120	0.2	70		65		25		8.67
通期	6,050	4.0	60		50		5		1.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	2,882,800 株	2023年2月期	2,882,800 株
期末自己株式数	2024年2月期1Q	112 株	2023年2月期	112 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	2,882,688 株	2023年2月期1Q	2,882,733 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症の位置づけが5類に移行されたことで、経済活動の正常化が進む一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や原材料・エネルギーの価格高騰に伴う物価上昇などの要因により、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

衣料品小売業界におきましては、生活費の高騰に伴う節約志向の高まりから消費マインドは低下する傾向にあり、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、下記の取り組みを実施してまいりました。

#### (株式会社シーズメン)

郊外ショッピングセンターやモールでミドルプライス衣料品の販売を主たる事業として展開する第1事業部では、商品面においては、ブランド商品の強化による販売単価の向上を図るとともに、店頭でのキャラクター商品の販売、チチカカブランドのレディース商品を「METHOD」6店舗で展開するなど、女性客の取り込みを強化する施策を進めてまいりました。

販売面におきましては、Tシャツ、ボトムス、羽織物などの組み合わせによるコーディネート提案での販売強化に取り組むとともに、ブランド商品にノベルティ特典をつけるなど高単価商品の販売を推進いたしました。

店舗展開におきましては、当第1四半期連結累計期間における出店及び退店はなく、当第1四半期会計期間末の店舗数は「METHOD」18店舗、「流儀圧搾」10店舗、「AGIT POINT」1店舗、「G-LAND」1店舗、「FACETASM」1店舗の合計31店舗となりました。

都心部ファッションビルや百貨店でハイプライス衣料品の販売を主たる事業として展開する第2事業部では、商品面におきましては、クオリティーの高い一部商材について価格設定を見直し、粗利益の改善を図りました。また、商品展開につきましては、気温上昇の早期化に対応すべく商品構成の見直しを行いました。特に、4月中旬以降は半袖商材の投入に注力して、売上拡大を目指しました。

販売面におきましては、会員様向けの予約販売の強化、及び、来店頻度の高い上得意様に向けてシーズンカタログの送付を行うなど、集客の向上を図りました。また、セールイベント期間以外の値引き施策を抑制し、定価販売を強化することにより客単価の向上に努めました。

店舗展開におきましては、当第1四半期連結累計期間における出店及び退店はなく、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は「TORNADO MART」12店舗、「TORNADO MART WORLD」5店舗、「HIGH STREET」7店舗、「BLUE TORNADO」1店舗、「TORNADO MART OUTLET」1店舗の合計26店舗となりました。

#### (株式会社チチカカ)

郊外ショッピングセンターやモールでエスニックカジュアル衣料品・雑貨の販売を主たる事業として展開するチチカカでは、商品面におきましては、新規商品仕入れの抑制に取り組むとともに、販売面におきましては、在庫品の中でも販売好調な品目を選定して、コーディネートによるセット販売を進め、売上確保に努めました。また、定価販売を強化する店舗と在庫品を中心に販売する店舗をグルーピングし、各グループ別の成功事例を店舗間で情報共有することにより、販売力の向上を図りました。

店舗展開におきましては、当第1四半期連結累計期間における出店はなく、退店は1店舗、当連結会計年度末の店舗数は「チチカカ」42店舗、「アウトレット」1店舗の合計43店舗となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は15億1百万円（前年同期比△3.0%減）、営業利益は36百万円（前年同四半期は84百万円の損失）、経常利益は39百万円（前年同四半期は80百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60百万円（前年同期四半期は88百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は25億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加いたしました。主に、売掛金1億21百万円、商品1億5百万円等の増加及び現金及び預金56百万円の減少等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は16億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円増加いたしました。主に、買掛金1億57百万円、賞与引当金20百万等の増加及び未払法人税等の減少11百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加いたしました。主に、利益剰余金60百万円の増加及び新株予約権34百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、2023年4月13日付け「2023年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	477,853	421,004
売掛金	225,147	347,107
商品	954,104	1,059,131
その他	92,620	62,505
流動資産合計	1,749,725	1,889,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,890	4,702
その他（純額）	232	72
有形固定資産合計	5,123	4,774
無形固定資産		
のれん	76,548	71,763
その他	822	793
無形固定資産合計	77,370	72,557
投資その他の資産		
敷金及び保証金	589,802	585,843
その他	6,233	6,116
投資その他の資産合計	596,036	591,960
固定資産合計	678,529	669,292
資産合計	2,428,255	2,559,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	186,679	344,361
短期借入金	257,720	257,720
1年内返済予定の長期借入金	206,348	208,988
未払費用	153,661	156,376
未払法人税等	25,245	13,703
賞与引当金	40,583	61,551
資産除去債務	51,216	47,132
その他の引当金	4,398	3,355
その他	129,287	76,143
流動負債合計	1,055,140	1,169,332
固定負債		
長期借入金	120,072	115,929
資産除去債務	363,339	363,471
退職給付に係る負債	33,446	-
その他	4,829	33,367
固定負債合計	521,687	512,768
負債合計	1,576,828	1,682,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	899,296	899,296
利益剰余金	△132,708	△72,283
自己株式	△72	△72
株主資本合計	816,515	876,941
新株予約権	34,911	-
純資産合計	851,427	876,941
負債純資産合計	2,428,255	2,559,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,547,710	1,501,767
売上原価	665,713	612,210
売上総利益	881,997	889,556
販売費及び一般管理費	966,572	853,148
営業利益又は営業損失(△)	△84,574	36,408
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	11,019	697
受取補償金	-	5,000
その他	4,649	669
営業外収益合計	15,668	6,367
営業外費用		
支払利息	2,192	1,504
為替差損	8,630	1,587
その他	340	465
営業外費用合計	11,163	3,558
経常利益又は経常損失(△)	△80,069	39,217
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	6,562	-
新株予約権戻入益	-	34,911
特別利益合計	6,562	34,911
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△73,507	74,129
法人税、住民税及び事業税	14,661	13,703
法人税等合計	14,661	13,703
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,168	60,425
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,168	60,425



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,168	60,425
四半期包括利益	△88,168	60,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,168	60,425
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

当社連結子会社である株式会社チチカカが金融機関から借り入れている借入金の一部(147,900千円)について、取引銀行3行とシンジケートローン契約を結んでおります。この契約には、下記の財務制限条項が付されております。

①単体の貸借対照表における純資産の部の金額を、2019年4月中間期末日の純資産の金額以上に維持すること。

②単体の損益計算書上の経常損益につき損失を計上しないこと。

当社連結子会社である株式会社チチカカは、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期累計期間において上記事項に抵触しております。

しかしながら、借入先の金融機関より、期限の利益の喪失に係る権利行使を行わない旨の同意を得ております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年5月31日)

当社グループは、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

当社グループは、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況が存在しております。

このような状況のもと、シーズメンにおいてはオリジナルブランド開発の推進やレディース商品販売の強化を進めております。また、チチカカでは、引き続き不採算店舗の閉鎖による経営基盤の強化を行うとともに、シーズメンとの各種機能統合によるシナジーの創出を進め、営業力の強化とコスト効率の向上に取り組み、収益の改善を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度から実施しております不採算店舗の撤退や商品仕入れの精度向上、コスト削減策など収益改善策の効果に加えて、新型コロナウイルスの影響の軽減等により、業績は回復しており、資金繰りの改善が見込まれます。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。